



春日小だより

平成30年11月30日
練馬区立春日小学校
校長 水 井 清
学校通信 12月号

感動いっぱい学芸会

校 長 水 井 清

11月17日に実施しました学芸会には、大勢の保護者の皆様、地域やご来賓の皆様にご鑑賞いただき、ありがとうございました。

子供たちは、精一杯頑張りました。どの学年の子供たちも、自分の役なりきり、自分の役割の台詞を心を込めて言うことができたと思います。たった一言の台詞でも劇の中では重要な役割を果たします。その台詞なしには劇を進行することができません。台詞の多い少ないではなく、ご自分のお子様の動作や身振りを含めた演技をどうぞいっぱい誉めてあげていただきたいと思います。

学芸会のねらいは、子供たちに表現力や演技力を身に付けさせることはもちろんのことではありますが、学年全員の心がひとつになり、ひとつの劇を創りあげていく、子供たちの絆を育てるところにもあります。そして、ひとつのストーリーを学年全員で創りあげる劇においては、スタッフの教師と演じる子供たちの心や思いがひとつにならなければ、まとめることはできません。大勢のキャストを少ないスタッフでどのような方法で練習を進めればいいのか、いかに一人一人の児童をいかしていくかは、本当に至難の業でした。配役決めから練習方法などを含め、教職員の努力と工夫は並大抵ではありませんでした。

本番当日の劇では、どの学年も今までで最高レベルの演技を見せてくれました。スタッフの教職員も苦勞が吹き飛ぶほどの充実感をもつことができました。学芸会を通して学年の子供たちの絆が高まったことを実感しています。

今でも校舎内のあちらこちらで、学芸会で演じられた「いろいろな台詞」が聞かれます。子供たちの心の中に、劇の体験が強く印象に残っている証だと思います。これらの体験をこれからの学校生活にいかして行って欲しいと思います。

最後になりますが、子供たちの衣装等への協力や温かい励ましをいただきましたご家庭の皆様にも感謝申し上げます。ありがとうございました。

役になりきった子供たち、全力投球で指導した教職員、そしてサポートしていただいた保護者の皆様の力で、感動いっぱいの学芸会になりました。

